

福井大学協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（1月分）

留学先大学：マカオ大学

氏名：坂井穂花

マカオでの留学は1日ほど早めの12月31日の大晦日に到着し、現地ですでに半年前から留学を開始している日本人学生とカジノホテルの豪華なカウントダウンで幕を開けました。その日はこの一ヶ月で一番寒い日で、ニットを持って行っていなかったので、とても寒く、気温は東京よりか低かったと思います。一週間ほどたつと、寒さは徐々に和らいでいき、ニットは必要ないほどまで気温は上がって暖かくなりました。気温は20度前後でとても過ごしやすかったです。マカオに来て、一番驚いたことは、バスが24時間動いているのですが、運転が荒く、バスに乗っても座るまで待ってくれないので遊園地のアトラクションみたいな感じで、とても危ないです。特に大きな荷物を持っているときは、とても大変でしたが、慣れてしまえば何も思わなくなりました。最初の1,2週間は日本人学生にお店などを教えてもらい、助けてもらって生活必需品を調達していましたが、慣れると、自分だけでも行けるようになりました。オリエンテーションの際、ビザに必要な証明写真のサイズが小さすぎたので、撮り直しとなり、自分で街中の写真屋さんに取りに行く手間がかかってしまったので、正式な書類に添付する写真のサイズの規定を守らなければいけないと思いました。さらに、必要な書類には、エックス線フィルムが明記されていたので、必要だと思い、持って行ったのですが、異常がないのなら、必要ないといわれてしまい、せっかく等身大のものを持って行ったのに、意味がありませんでした。ビジネス系の授業ではすべてグループ活動があるので、グループを作るとき、近くに座っていた学生が誘ってくれることが多かったのであまりその点で苦労はしませんでした。しかし、私のようなFAH（人文）の学生がFBA（ビジネス）の授業をとることはあまりないので、アウェーな雰囲気を感じることはあります。

今期からの留学生の数は、秋学期と比べると、アカデミックイヤーの途中なので少なく、やはり、ヨーロッパ、中国、日本で固まって行動してしまうことがほとんどでした。その中で、私は、中国人の友達ができ、週末、近くの中国・珠海市で買い物、カジノ施設の中でショッピングで遊んだりなどしましたが、やはり日本人と一緒にいることが多く、ルームメイトはマカオ人の子なのですが、この一ヶ月であまり異文化に触れられていないなと思いました。ルームメイトはあまり

部屋に帰ってこないのもあり、部屋にいるときはお互いにプライベートな時間だと認識していて、話したいのに話すタイミングやどこまでプライベートな内容を話していいのかわからず、この一ヶ月で全然話すことができませんでした。これからはしっかりコミュニケーションをとってマカオのことを教えてもらおうと思います。マカオで外食をしようと思うと、日本と同じくらいかそれより高くなってしまいますので、寮食が口に合わないこともあるのですが、少し我慢して節約しなければいけないなと思います。この一ヶ月で王道な観光スポットは巡ることができたと思うので、来月は少しローカルなお店探しをして、マカオらしさをもっと探りたいと思います。

